

教員も保護者も学ぶ

□ソーシャルスキルトレーニングを学ぶ

発達障がいのある方への SST を学ぶ研修会（「ソーシャルスキルトレーニングの考え方を学ぶ」～個別対応や全体指導に活かすために～）が本校を会場に昨日（7月1日）行われました。島根県、島根県東部発達障害者支援センターウイッシュが主催で、昨年に引き続き明星大学心理学部教授／明星大学発達臨床センター長の小貫 悟先生を講師に開催されました。この研修会には私や山根教頭も含めて本校の教員も5名参加しました。

小中高等学校・高専から18名、特別支援学校から10名、外教育委員会や教育センター、相談・支援センターなど関係機関等から約80名の参加者で、ソーシャルスキルトレーニングの考え方の共有を目標に1日研修を行いました。様々なつまづきは年齢の上昇とともに社会性の問題に集約されること、前向きなビビットな体験が重要であること、社会的場面で成功体験を得る手法など演習も交え、非常に多くのことを学び体感することができる研修でした。

高校通級はギャチェンジのスキルトレーニング（ライフスキルトレーニング）で、社会システムの理解、対人関係の調整、生活管理、自己理解、余暇活用などのスキルを向上させ、目指すべき方向は成功体験から成長体験で、成長できたと実感できるような仕掛け、成長を見ていくようなプログラム作りが重要だと感じました。本校から参加した教員を中心に、組織的に特別支援教育を推進していくことが重要であると改めて感じました。



□保護者対象の進路ガイダンス

進路指導部と3年の学年会が中心となって保護者対象の進路ガイダンスを計画し、準備し、6月30日（土）の午後実施しました。1年生から3年生までの保護者約150名の参加がありました。参加された1年生の保護者の方から、「今年参加してとても勉強になった。進路については親も勉強していかないといけないと感じたし、子どもと進路のことで会話ができそうで、相談にものってやれそうだ」といった感想があり、今年度初めての開催でしたが、肯定的な意見が多かったようです。3年生の保護者からは、3年生からでは遅いと感じたといった意見もあり、来年度も引き続き実施していく方向で今後準備していく必要があると思っています。

このガイダンスは、事前の参加希望調査では120名程度と聞いていましたので、それに合わせて準備をしていましたが、進学・就職とも会場は超満員でした。ご夫婦で参加いただいたところも多かったようで、そのところが把握できていなかったこともあり、参加された方にはご不便とご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。



就職講演会&就職相談会
 (株) 谷口印刷 糸川和浩様を講師に『中小企業の魅力について』話をしていただき、その後進路指導部長古川より今年度の求人状況等について説明をしました。



進学マネープラン説明会 & 進学相談会
 (株) キッズ・コーポレーション専任講師 長尾 真一様よりご説明いただき、その後学校別の進学相談会を行いました。

